

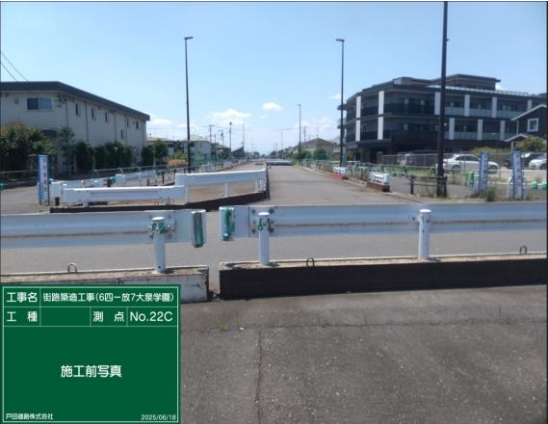
【件 名】	街路築造工事（6四一放7大泉学園）	【事務所名】	第四建設事務所	
【工事場所】	東京都練馬区大泉学園町二丁目地内から同区西大泉五丁目地内まで	【受注者名】	戸田道路株式会社	
【工 期】	令和7年3月17日から令和8年3月27日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 志賀 一生	

【工事概要】

- ・本工事は、放射第7号線の未開通部分の一部を暫定交通開放させる街路築造工事及び残地整備工事であり、交通開放にあたっては、丁寧に地元対応を実施しながら早期かつ安全に工事を遂行した。
- ・放射第7号線と福泉寺通りの交差点で、交通管理者の信号機設置に伴う複雑な交通切替を実施し、地元から設置要望があった信号機を早期に運用することができた。

【表彰理由】

- ・受注者は、作業員への安全教育を徹底するとともに、沿道住宅地において、通勤・通学時間帯を中心に歩行者や自転車の通行が多い地域特性を踏まえ、歩行者通路の安全確保を図るなど万全を期し、事故なく円滑かつ確実に工事を完了させた。
- ・交通管理者の信号機設置工事に関し、受注者が主体的かつ的確に関係企業者と調整を図り、早期運用開始に寄与した。
- ・工程管理を綿密に行うとともに迅速かつ適切に工事を進め、本線を含めた暫定交通開放を予定どおり実施し、地域交通の利便性向上に寄与した。
- ・燃費効率の向上を図る燃焼促進剤を重機に添加することで、CO2削減に寄与した。また、休憩所にソーラー電源を利用、車線規制電光標示板にソーラー式規制LEDを使用するなど、積極的にHTTの取り組みを実施した。



工事着手前の状況



暫定交通開放時の状況

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
歩行者通路を確保するため、仮設柵やバリケードを連続配置し、歩道および工事エリアを明確に区分して安全性を高めました。
- ◇ 特に工夫した点
工事延長が長い現場のため、施工エリアを細分化し、住民への影響を抑えつつ効率的に施工を進める計画と調整を行い、円滑な工事実施に努めました。また、細分化した作業箇所に移動できる車載式ソーラーハウスを使用するなど工夫しました。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
住民の声に向き合いながら安全で使いやすい道路を形にし、最後に地域の方々から感謝の言葉をいただいたことで、大きなやりがいと達成感を得ました。
- ◇ この工事を通して、建設業の将来を担う若手技術者や学生に伝えたいこと
技術だけでなく、住民対応や行政協議など多くの人と関わる中で育つコミュニケーション力は、若手技術者にとって将来の大きな財産になると思います。



移動できる車載式ソーラーハウス

施工中の現場（歩行者通路の確保）